第3種郵便物認可　　朝日新聞　　2025年(令和7年)1月28日(火)　13版S　22

生物多様性 企業が守る

生物多様性への企業の関心が高まっている。生き物の絶滅や減少が世界中で加速するなか、企業活動の基盤となる自然を守り回復させることが、持続的な経営に欠かせないという認識が広がりつつあるからだ。金融界の要請を背景に、企業活動が自然に及ぼす影響や、得られる機会などの情報開示も広がっている。（松村北斗）

急増する自然共生サイト 全国253カ所

横浜・京浜の森
神奈川県横浜市　1.7㌶
トンボはトコまで飛ぶカフェーラム

京浜臨海部に点在する6者（6カ所）のビオトープや緑地で構成、4事業所（JFEエンジニアリング横浜本社、東芝エネルギーシステムズ京浜事業所、JVCケンウッド、マツダR&Dセンター横浜）と横浜海洋空港技術調査事務所、横浜サイエンスフロンティア高校・付属中学校

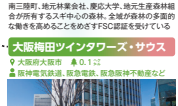
南三陸FSC認証林
宮城県南三陸町　247㌶
南三陸森林管理協議会

南三陸町、地元林業会社、慶応大学、地元生産森林組合が所有するスギ中心の森林。全域が森林の多面的な機能を高めることをめざすFSC認証を受けている

三菱重工業 三原製作所「和田沖の森」
広島県三原市　8.3㌶
三菱重工業三原製作所

工場内の緑地にある常緑広葉樹主体の森林、40種以上の鳥類を確認

大阪梅田ツインタワーズ・サウス
大阪府大阪市　0.1㌶
阪神電気鉄道、阪急阪神不動産など



複合商業ビルの屋上広場、壁面緑化、地上部などで構成される緑地

グラフィック・田中 町

広がるTNFD、自然とビジネスの関係を開示

工業地帯一丸 トンボの軌跡追う

JFEエンジニアリング横浜本社あ当事業所と住宅、横浜市鶴見区

横浜・京浜の森

横浜市の京浜工業地帯にある企業敷地の周辺公園で、企業と市民、専門家が連携し、トンボの調査を2003年から続ける。

「妻地帯の緑地を増やしたい」と市が企業に呼びかけたことを受けたかたちで、毎年8月に、ジュニア調査員（小学生）が参加する。今年は、8月末に、ジュニア調査員（小学生）が参加する。今年は、8月末に、ジュニア調査員（小学生）が参加する。今年は、8月末